

GIS DAY IN 北海道 2013

北海道の冬と雪、GIS の活用

開催日時：2013/12/6(金), 2013/12/7(土)

開催場所：酪農学園大学 (〒069-8501 北海道江別市文京台緑町 582 番地)

GIS Day in 北海道は、北海道の GIS、リモートセンシングに関わる、興味のあるみなさまの交流の場です。今回のテーマは、「北海道の冬と雪、GIS の活用」。北海道等、寒冷降雪地における GIS 利用には、まだまだ可能性があると思いますが、今回は、ここにフォーカスし、冬の防災やエネルギー、産業振興、自然環境保全等における GIS やリモートセンシングの活用の可能

【公開シンポジウム】 12月6日(金) 事前登録不要、無料

寒冷降雪地における GIS の活用について、その可能性を考えていきます。

基調講演

「吹雪災害と交通管理への GIS 利用の可能性」

萩原 亨 氏 (北海道大学大学院工学院 北方圏環境政策工学専攻 教授)

「国土地理院 G 空間情報の整備と取り組み」

永山 透 氏 (国土地理院北海道地方測量部 部長)

講演

「石狩平野のシカの季節移動—降雪と積雪の影響は？」

吉田 剛司 氏 (酪農学園大学 農食環境学群 教授)

「雪割り・土壌凍結深制御による野良イモ対策」

広田 知良 氏 (北海道農業研究センター生産環境研究域 上席研究員)

「スノーリゾート管理における GIS、GPS 活用方法の検討～星野リゾートを事例として」

吉村 暢彦 (酪農学園大学 農業環境情報サービスセンター 特任研究員)

「再生可能エネルギー・地中熱利用とリモートセンシング」

山田 知矢 氏 (特定非営利活動法人地中熱利用促進協会 団体)

【パネルおよび機器展示、学生向け就職相談】 12月6日(金) 無料

企業様による最新機器やソフトウェアの展示等を行います。今年は学生さん向けの就職相談も行う予定です。

【GIS・RS 講習会】 12月7日(土) 事前登録必要 (場所：酪農学園大学 A1 号館)

A. アナログ to デジタル、写真判読からリモートセンシング基礎講座 (9:00 - 16:00) 無料

実体鏡を用いた空中写真判読、立体視ソフトのデモ、ArcGIS や e-cognition を用いた画像分類

B. ArcGIS 10.2 リリースセミナー (9:30 - 12:00) 無料

ArcGIS10.2 の基礎的な操作とバージョン 10.2 の新機能を体験

C. ArcGIS 中級：ArcGIS で自動化処理 (モデルビルダーと ArcPy の初歩) (10:00 - 16:30) 有料

ArcGIS のモデルビルダー、ArcPy を使った自動処理の演習、Python を使った自動処理

【主催】酪農学園大学 農業環境情報サービスセンター

【後援】特定非営利活動法人 Digital 北海道研究会、北海道 GIS・GPS 研究会、ESRI ジャパン株式会社 (予定)、日本写真測量学会北海道支部 (予定) 随時依頼予定

【お問い合わせ・お申し込み】

GIS Day in 北海道 2013 事務局 (酪農学園大学農業環境情報サービスセンター (担当 吉村))

〒069-8501 北海道江別市文京台緑町 582 番地

TEL / FAX : 011-388-4864 E-mail : gisday@rakuno.ac.jp



<http://www.rakuno.ac.jp/dep25/gisday2013/>



で、「GIS Day in 北海道」を検索!

最新の情報は、Website または、Facebook でお知らせしていきます。

※ 本配布物掲載の内容は、予告なく変更する可能性があります。最新情報については、facebook ページおよび Web サイトでご確認下さい。



もちろん交流会も
あります!